

平成28年度 海洋基礎科学 [35616-6002] 講義日程

A Semester / 金曜4限(14:55~16:40) @理学部 2号館 201号室

講義はオムニバス形式で行います。専門外の学生にも十分理解できるよう基礎から講義するよう配慮します。

	日にち	講師	タイトル
第1回	9月30日(金)	日比谷 紀之 (地球惑星科学専攻)	「月が導く深海の流れ - 地球を巡る海洋大循環の謎を解く -」
第2回	10月7日(金)	稲津 大祐 (東京海洋大学)	「津波の物理と予測技術」
第3回	10月14日(金)	篠原 雅尚 (地震研究所)	「海底から解明する 2011年東北地方太平洋沖地震とその後」
第4回	10月21日(金)	遠藤 一佳 (地球惑星科学専攻)	「海洋環境の変遷と生物の進化史」
第5回	10月28日(金)	砂村 倫成 (地球惑星科学専攻)	「深海海底熱水活動がもたらす海底下 - 深海の物質の移動と生命活動」
第6回	11月4日(金)	多田 隆治 (地球惑星科学専攻)	「地球温暖化の次に来るもの: 地球史六度目の生物大量絶滅の可能性」
第7回	11月11日(金)	黒川 大輔 (生物科学専攻)	「海洋生物と発生進化研究」
第8回	11月18日(金)	茅根 創 (地球惑星科学専攻)	「地球温暖化とサンゴ礁」
第9回	11月25日(金)	小島茂明 (大気海洋研究所)	「深海化学合成生物群集 生物多様性と保全」
第10回	12月2日(金)	小川 浩史 (大気海洋研究所)	「海洋における有機物の動態」
第11回	12月9日(金)	永田 俊 (大気海洋研究所)	「微生物の海 - 海洋生態系における微生物群集の働きと多様性」
第12回	12月16日(金)	近藤真理子 (臨海実験所)	「海洋生物の危機—基礎研究との関連」
第13回	1月6日(金)	宮島 利宏 (大気海洋研究所)	「海の物質循環と安定同位体」
第14回	1月12日(木)	吉田 学 (臨海実験所)	「実験モデル生物としての海産動物の可能性」

◎成績の判定

出席回数とレポートで行い、両者を併せて総合成績とする。

出席の認定は各授業後に記入する出席票により行う。

レポートは、上記14回の講義の内、興味を持った2つについてそれぞれ考察を加えて
(字数は講師の指定による)提出する。

随時提出可で、最終締め切りを 2017年1月31日(火)10:00 厳守とする。

レポート提出先: oa-office@oa.u-tokyo.ac.jp

海洋アライアンス事務局 (03-5841-4682)